

# 認定NPO法人東米良創生会の中間支援事業

地域の衰退の理由・課題の調査と地域の魅力・資源の再確認

地域の今を知る

- ・人口や地理的状况を知る
- ・地域行事や文化を知る
- ・地域内組織/団体/企業の今を知る
- ・生活や暮らしを知る

地域の課題を共有する

- ・暮らしの課題
- ・団体の課題
- ・企業の課題
- ・地理的/機能的課題

地域の共通課題

- ・情報の共有の無さ
- ・事務局機能の脆弱さ
- ・役割の認識不足
- ・地域の包括的な予算の未把握

東米良地区の中間支援組織  
東米良創生会の設立

地域の共通課題解決のために新たに設立  
地域の欠けていた機能を取り戻すため

事務局機能を担う

- ・情報共有
- ・地域予算の把握
- ・役割分担の協議

東米良創生会の役割

- ・東米良地区の総合的な窓口
- ・組織の再編/再構築
- ・予算の効率化
- 地域で人もモノも共有
- 内需拡大
- ・地域資源を地域全体で活用



# 認定NPO法人東米良創生会ってどんな団体？

- ▶ 令和2年3月、高齢化率60%台の限界集落である東米良地区を活性化させようと、地区の出身者である濱砂理事長を筆頭に東米良創生会を設立。毎年、地域課題解決のため事業を拡大していき、現在は教育や伝統文化の継承、地場産業の発展など10の事業に分かれ、365日東米良地区を支えるために活動中である。
- ▶ 東米良地区のスローガン

## 「1000年続く村 東米良創生プロジェクト 循環型山村づくり」

- ▶ 令和2年3月設立時15名の会員からスタートし、現在は賛助会員も含め令和7年7月366名。通常活動人数210名程度。65歳以上の会員110名程度。
- ▶ 10事業を展開中
  - ①地域情報収集・発信・紹介に関する事業
  - ②市民活動支援に関する事業
  - ③子育て・教育に関する事業
  - ④伝統文化保存継承に関する事業
  - ⑤健康・スポーツに関する事業
  - ⑥地場産品・特産品に関する事業
  - ⑦自給自足に関する事業
  - ⑧村おこしに関する事業
  - ⑨環境整備保全に関する事業
  - ⑩事務局運営事業



# 東米良の「つながる」紹介 ①地域情報収集・発信・紹介に関する事業

- 情報誌ひがしめら 現在21号発行 1団体での発行は費用負担も大きいので関係者でまとめて発行
  - ➡ホームページで遠くにお住まいの方も、見逃した方も見る事が可能
  - ➡東米良の歩みの記録と残しておきたい言い伝えや話題の記録も目的
  - ➡東米良の活動を応援する企業の広告協賛
  - ➡記事は住民や関係者 デザインは地元の若手 印刷は地元の企業
- 東米良創生会HP 情報誌と同じ 1団体での運営は予算的に厳しいので、多様な団体と活用
  - ➡HP制作 応援企業
- SNS運用・YouTube等 地元の若手
- 公式LINE 創生会事務局  
道路情報・災害情報・イベント情報などを配信
  - ➡行政・事業所・住民・親戚  
関係者にリアルタイム情報を配信
- 東米良の魅力発信 応援企業 ラッピングトラック2台 情報誌NO.21をご覧ください



# 東米良の「つながる」紹介 ②市民活動支援に関する事業

- 東米良地域づくり協議会
  - 東米良自主防災組織連絡会
  - 銀上協定集落
  - 銀上乳幼児育成支援いちご会
  - 東米良地区体育振興会
  - 尾八重川流域の自然と吐合の木タルを守る会
  - オンデマンド東米良地区移動支援事業
- 上記、事務局をまとめて創生会が実施。  
活動をつなげることに役立っている**



- 中尾地区自治会活動
- 銀上公民館活動
- 銀鏡神楽保存会
- 尾八重活性化委員会
- 3地区活性化プロジェクト会議運営

**上記、活動支援を創生会が実施。各団体の負担になっている活動の支援をつなぐ役を担っている。  
地域通貨「仁」など地域全体の仕組みづくり**